

いちモニ 実施報告書

アンケート名称	第5期市川市地域福祉計画に関するアンケート
担当部・課名	福祉部 地域共生課
アンケート概要（実施期間 令和8年5月8日～令和8年5月17日）	
第5期市川市地域福祉計画の施策について、認知度・満足度を測定することで、計画の進行管理に加え、今後の「市川市地域福祉計画」の参考とするために実施するもの。	
市政への反映状況等	
<p>今回のアンケートでは、「地域福祉に関するアンケート」についてご意見を伺ったところ、有効回答4,222名と多くの方から回答をいただくことが出来ました。</p> <p><アンケートの目的></p> <p>本アンケートは第5期市川市地域福祉計画の施策の方向ごとに、認知度・満足度を測定することで、計画の進行管理に加え、今後の「市川市地域福祉計画」の参考にするものとして行ったものです。</p> <p><結果の概要></p> <p>■かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている方の割合について、「すべて持っている」と回答した方の割合が、30%でした。</p> <p>これは、過去二回のアンケート実施時の割合を上回るものであり、日常の健康管理における不安を気軽に相談できる「かかりつけ医」や、服薬歴・薬物に対するアレルギー等を把握してくれる「かかりつけ薬局」を持つ方が増加傾向にあることは、より良い地域医療体制の構築に向けて前進していることを示す一つの指標であると考えます。</p> <p>■地域福祉活動の担い手が確保できていると思う割合については、「十分確保できている」と答えた方が1%未満、「どちらかといえば確保できている」と答えた方が10%であり、過去二回のアンケート実施時の割合を下回るものでした。</p> <p>また、この設問に対し「わからない」と答えた方は36%であり、こちらは過去二回のアンケート実施時と比べ倍以上に増加しています。</p> <p>このことから、後述する「地域活動の場の確保」の増加に対し、担い手の増加が追い付</p>	

いていないことが推察されるとともに、「地域福祉活動の担い手」について広く認識していただくために、引き続き「気軽に集まれる場」や「催し物、行事、勉強会」などを通じて、地域の福祉活動への協力を呼び掛ける必要性があると考えます。

■地域福祉活動の場について、「十分確保できている」と答えた方が1%、「どちらかといえば確保できている」と答えた方が13%であり、こちらも過去二回のアンケート実施時の割合を上回るものでした。

この結果は、地域福祉活動の活性化を目的とし、企業等による地域福祉活動の場の提供に関する情報を本市が広く周知したことによる成果として捉えます。

本アンケートに関しては、第5期市川市地域福祉計画(令和6年度～11年度)における進捗管理として毎年度実施し、本市の取組や事業で得られた成果を経年比較するとともに、今後の施策や事業の推進を図ってまいります。

アンケートへのご協力ありがとうございました。